

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	民俗学					授業形態		講義		
科目コード	750010	単位数	2単位	配当学年	1年	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	地村 光広									
授業概要	<p>小学校教諭経験、博物館等における行政ならびに専門的な経験、教頭・校長の管理職経験等で培ったことを生かして、将来教員を目指す学生諸君に、深い見識を身に付けさせるために実践していく。</p> <p>民俗学は衣食住・生産生業・交通運輸・交易・社会生活等の有形文化および年中行事・信仰儀礼・民俗芸能等の無形文化について伝承からその内容を明らかにするものである。なかでも民俗資料は人びとの生活を知るうえで不可欠なものであり、生きぬいてきた人びとの生活を物語る貴重な文化財である。これらの資料から人びとの生活の知恵や工夫、自然とのたくみなかわりを探ることができるものである。</p>									
関連する科目	宮崎の自然と歴史（民俗学全般・日向の山村生産用具等）、都城の民俗（いのりとまつり・身近な食等）									
授業の進め方 と方法	本授業は講義形式で行う。授業形態としては一斉指導を基本とするが内容によってはグループに分かれてのディスカッションや発表等も取り入れる。また民俗の視聴覚資料や民俗資料等の具体物を用いたり、博物館の展示解説等を行ったりして受講生が主体的に学習することができるような内容の工夫をする。									
授業計画 【第1回】	民俗学について 民俗学の特長・民俗学の対象分野等									
授業計画 【第2回】	民俗文化財について 民俗資料の定義・民俗文化財の分類（有形・無形）									
授業計画 【第3回】	宮崎の民俗 民俗資料の宝庫・宮崎県の地勢・照葉樹林文化									
授業計画 【第4回】	山・里・海のくらし 山樵・農耕・漁労									
授業計画 【第5回】	いのりとまつり 宮崎の神楽・年中行事									
授業計画 【第6回】	日向の山村生産用具① 山にくらす									
授業計画 【第7回】	日向の山村生産用具② 里にくらす									
授業計画 【第8回】	川の民俗 上流・中流・下流の川漁									
授業計画 【第9回】	身近な食と民俗 正月の食・盆行事の食・特色ある食の事例									
授業計画 【第10回】	商家のくらし 生業の変遷・商家の建物と住まい方									
授業計画 【第11回】	みやざきの技 木・竹・草の民具									

授業計画 【第12回】	民俗資料の見方について 形状・素材・製作方法
授業計画 【第13回】	民俗展示の解説 宮崎県総合博物館の民俗展示の内容
授業計画 【第14回】	宮崎の民家 民家の定義・民家をみる視点
授業計画 【第15回】	民俗調査の方法とまとめ 対象・時期・場所・方法等
授業の到達目標	伝統・文化の意味を理解するとともに、先人たちの知恵や工夫・努力等に気づき、保存・継承等を含めこれからの自分たちの生活に すすんで取り入れようとする事ができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4) / 3. 人間 力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修 【予習】	今回のテーマに着目し関連資料等を参考にして理解しておく。(学修に係る標準時間は約2時間)
授業時間外の学修 【復習】	授業で学修した内容について要点をまとめておく。(学修に係る標準時間は約2時間)
課題に対する フィードバック	時間ごとに授業の「振り返り」を行う。また、テスト終了時に解説資料を提示する。
評価方法・基準	授業中の「感想・振り返り」 50点 最終試験 50点
テキスト	決められたものはなし。
参考書	必要に応じて図書や関連の資料を紹介する。
備考	授業中の「感想」「振り返り」等を出席管理に使用する。